

ゲンロン5

特集

幽靈的身體

東浩紀 編

鈴木忠志
大澤真幸
佐々木敦
東浩紀
梅沢和木
金森穰
鴻英良
木ノ下裕一
福嶋亮大
渡邊大輔
飴屋法水

フレドリック・ジェイムソン
ヴァレリー・ポドロガ
ブラー・ブダ・ユン
黒瀬陽平

速水健朗
井出明

新刊

一般書店発売
6月24日[土]

本体価格 2,400円+税
ISBN: 978-4-907188-21-4
A5判 324頁

批評誌『ゲンロン』、待望の演劇特集！

わたしたちは「いまここ」だけを生きているのではない。

過去も、未来も、遠くの「どこか」も同時に生きている。

舞台とはまさにその多層のリアリティがモノとして凝縮する場なのだとすれば、
演劇の知の蓄積はいままさに21世紀の社会を捉えるため召喚されるべきなのかもしれない。

「幽靈」を鍵に問いかける直す演劇批評の新たなパラダイム。



利賀セミナー2016記録集

鈴木忠志/大澤真幸/佐々木敦
金森穣/梅沢和木/東浩紀

共同討議1

記号から触覚へ

インタビュー

人間は足から考える

共同討議2

演劇の起源と幽霊の条件

論考

虚体、死体、そして〈外〉へ 鴻英良

幽霊としての歌舞伎 木ノ下裕一

悪霊・崇高・身体 福嶋亮大

「顔」に憑く幽霊たち 渡邊大輔

対談

演劇とは半々である 館屋法水+佐々木敦



『ゲンロン』は、作家・思想家の東浩紀が編集長を務める批評誌のシリーズです。現代社会を、さまざまな思考の鏡に反射させたうえで捉える思想的視座を提案し、本来の意味での「批評」の復興を目指す、新たな人文知の「観光ガイド」として創刊されました。

ゲンロン5 特集 幽霊的身体

すべてが記号に覆われた現代社会で身体になにができるのか?

利賀村で開催された3日間のシンポジウムを完全記録

2016年晚夏、鈴木忠志氏率いる劇団SCOTの本拠地として知られる富山県利賀芸術公園において、ゲンロンは3日間の演劇セミナー／ワークショップを開催しました。講師には鈴木氏をはじめ、平田オリザ、大澤真幸、佐々木敦、舞踊家の金森穣、美術家の梅沢和木各氏を迎え、40名の多様な参加者が3日間寝食をともにしながら「幽霊」というひとつのキーワードのもと、シンポジウムや劇作ワークショップに取り組みました。

本特集は、そのセミナーの記録を中心とし、「幽霊的身体」という特集テーマに添って寄せられた各分野の気鋭の書き手による論考を含む全体が、身体や演劇、映像、あるいは文学を語るものであると同時に、現代社会に潜む現実と非現実、存在と非存在、見えるものと見えないもの、生者と死者といった、分かたれたものの「あいだ」にある幽霊の問題を、様々に変奏する重厚な内容となっています。舞台芸術ファン必携の挑戦的特集です。



『ゲンロン5 幽霊的身体』を購入するには

● オンラインストア・ゲンロンショップで購入

6月14日[水]より発送開始（送料無料キャンペーン中）
<http://shop.genron.co.jp/>

● 一般書店で購入

6月24日[土]より発売開始

株式会社 ゲンロン

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-16-6 イルモンドビル2F
TEL: 03-6417-9230 / info@genron.co.jp 担当: 富久田

